

研修生指導要綱(全体)

時期	作 業		課 題	指示事項
4～6月	米	播種 育苗 移植 畦畔管理	指示通りに行動し作業手順を習得する (苗間の管理、田植え作業他) 作業スピードについて行く	作業日誌（3年記帳ダイアリー）の用意 労働着の準備(雨具はゴアテックス指定) 玄米食の体験（炊き方を学ぶ） 販売目標を具体化する
	麦	収穫 乾燥／調整／出荷	労働できる体作り（腰を低く！）	
	大豆	播種・資材散布	作業日誌を作る	
	販売 その他	JAS認証申請 アースディ	販売目標を立てて実行する 取扱商品に習熟する 販売ソフトの操作を習得	
	独立	新規就農認定取得1年生	新規就農計画を立てる	
7～9月	米	畦畔管理 抑草 防鳥ネット敷設	労働できる体作り（暑さ対策） 草刈り作業の習熟(速度と仕上がり) 膨張ネット敷設技術の習得 大型特殊免許取得1年生	JAS制度や有機の技術的水準を理解するの に必要な書籍を購入して勉強してください PCの設置はこの頃までには済ませること
	麦	収穫 乾燥／調整／出荷	トラクター操作習得 作業日誌をつける(内容に注意)	
	大豆	資材散布・除草	販売目標を立てて実行する	
	販売 その他	JAS現地調査 新米ダイレクトメール 穀物検査	販売入力作業を習得する 販売ソフトの操作を習熟	
	独立	ほ場確保2年生	ほ場情報を確認、地権者検索	
10～12月	米	畦畔管理 稲刈り 乾燥／調整／出荷 ほ場管理	作業機各種の操作を習得する 稲刈りからもみすりまでの一連の作業 を習得する	この時期の作業は1回限りとなる可能性が 高いので、緊張して受講すること 新米時期は顧客獲得の絶好のタイミング。 年間予約やお歳暮などと呼びかけて、販売 目標を達成しよう
	麦	播種 麦踏み・除草	商品知識を確実にし電話応対、接遇を 学ぶ	
	大豆	収穫 乾燥／調整／出荷		
	販売 その他	新米受付／出荷 作付け計画決定	週末特別ゼミ開始（自由参加） 課題図書 成長の限界―人類の選択	
	独立	作業所確保2年生	借地交渉、農地購入等ほ場確保	
1～3月	米	堆肥散布 ほ場整備 施肥管理	作業機各種の操作を習熟する 1年間の作業を整理し、4月以降は指示 を待つことなく作業できるよう準備す ること	
	麦	中耕管理		
	大豆	資材散布	独立に向けての具体的な方向性を打ち 出す	
	販売 その他	各種講習会 いのちの講演会 JAS書類整備 確定申告準備		
	独立	機械購入・資金確保2年	作業所と住居の確保	

一連の作業を習得しながら農作業の基礎、機械操作の基本を習得します。

5ヘクタールを管理可能なスピードを体得し、確実にしていく
販売力をつけるため、少なくとも1ヘクタール分は自力で販売しきる努力をしてください。

1年生は、農外からの新規取得の可能性と現実について認識をし、自分で切り開く可能性を探ります。貸付金や助成の制度、仕組みな
ども1年生のうちに調べておきます。

2年目は指示を待つことなく体が動くことを要求します。1年生に作業手順などを指示できるよう、1年目の課題は確実に身につけてく
ださい。また独立までのタイムスケジュールを作成し具体的な独立準備に入ります。

衣食を整えることで厳しい労働に耐える体を作るとともに食と体の関わりを学び、自分の生活で確かめましょう。

冬期は課題図書を読み込んで仲間と討議しながら理解を深めるゼミを毎週末に行います。本年課題図書は「成長の限界―人類の選択」
学ぶ習慣を身につけ、卒業生も含めた研修生仲間との親睦を深めるいい機会です。積極的に参加しましょう。